



〒516-0015 伊勢市久世戸町9-6
本誓寺
電話 0596-28-6905
FAX 0596-28-6906

拝啓

晩春の候、檀信徒の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申しあげます。
お釈迦様のお誕生日を祝う『花祭り法要』を左記のとおり実施いたします。
奮ってご参加ください。

合掌

花祭り法要(永代経供養)

一、実施日程

令和八年五月二十四日(日)
午前九時集合
午前九時二十分、花祭り法要
午前十時、お説教
午前十一時、永代経供養
午前十二時、解散

(しよぎょうじ そふえ りよぎょう)

一、説教師費用

名古屋 正行寺 祖父江良匡上人
一〇〇〇円 ※当日お受け賜ります。

一、出欠

昼食をご用意して下さいます。
同封の返信用ハガキ又はお電話にて
お申込みをお願いします。



当日のご用意について

- ※数珠は、必ずお持ちください
- ※お袈裟をお持ちの方は、ご持参ください
- ※普段着でお越しください
- ※お経の本は、お寺にてご用意します。

花の咲く季節となり、青葉のさわやかな頃を迎えました。
本誓寺の諸行事も、おかげさまで滞りなく勤めさせていただいております。
さて、5月には、お釈迦様のお誕生日をお祝いする「花まつり法要」を行います。
仏教には「四苦(しく)」という教えがあり、生まれる苦しみ「生苦(しょうく)」、
老いる苦しみ「老苦(ろうく)」、病の苦しみ「病苦(びょうく)」、そして死の苦しみ
「死苦(しく)」を示します。
更に、これに四つの苦しみを加えて「四苦八苦(しくはっく)」ともいわれます。
一般には「大変な苦勞」を意味する言葉として使われますが、
仏教においては、人が避けることのできない根本的な苦しみを示しています。
こうした教えに思いを寄せながら、今こうして無事に日々を過ごしている
ことに感謝し、ご先祖様の見守りに報いる気持ちを大切にしたいものです。
花まつり永代経法要において、感謝の念仏を共に勤めできればと存じます。

合掌



月かげのいたらぬさとはなけれども
ながむる人の心にぞすむ



浄焚式

去る2月22日(日)、本誓寺におきまして本年最初の行事である「浄焚式」を厳修いたしました。

当日は、檀信徒の皆様よりお預かりいたしました雛人形や兜、仏壇、お塔婆など、様々お品を心を込めて供養させていただきました。

これらのお品には、それぞれにご家族の思い出や願いが込められており、そのお気持ちに寄り添いながら、丁重にお勤めをさせていただきました。

本行事は、来年も2月頃に執り行う予定でございます。

ご家庭で供養をご希望のお品等がございましたら、どうぞ住職にご相談のうえ、お寺へご持参ください。

皆様のお心に寄り添い、これからも一つひとつ大切に、心を込めて供養をさせていただきます。

春彼岸

去る3月22日(日)、本誓寺では春彼岸の施餓鬼法要を厳修いたしました。

本年二番目の大切な行事として、総代や世話人の皆様にお力添えをいただき、おかげさまで滞りなくお勤めすることができました。

当日は、春のやわらかな陽ざしに恵まれながらも、やや肌寒さの残る一日となりましたが、そのような中、多くの檀信徒の皆様にご参拝いただき、心より感謝申し上げます。

施餓鬼法要は、ご先祖様をはじめ、全ての命に思いを寄せ、感謝の心を捧げる大切なご縁でございます。

皆様のお心は、きっとご先祖様にも届いていることと存じます。

来年の春彼岸にも、より多くの皆様にお参りいただき、共に手を合わせるご縁をいただけますことを、心より願っております。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



檀信徒の皆様へお願い

通年5回(春秋彼岸会・盆施餓鬼会等)、本誓寺行事のご案内と返信を頂くお申し込みがあります。

返信用封筒以外で、お寺にお持ち込みされる檀信徒様には、極力住職もしくは寺庭婦人に手渡し頂きますようお願い申し上げます。

お手数をお掛けしますが、よろしくお願いいたします。

住職

090-7617-1466

